

包 括 的 公 表

平成 30 年 4 月～9 月に報告された医療事故のうち、包括的公表となる事例は下記のとおりです。

発生場所	概 略	再発防止策
病棟	酸素 3L 毎分吸入中の移動中、酸素ポンベの元栓が閉まっていた。検査室入室時に酸素飽和度が低いため発見された。酸素吸入再開後、回復した。 (同様の事例が他に 1 件発生した。)	<ul style="list-style-type: none"> ・酸素ポンベ使用前には元栓が開いていることと、酸素が流れていることを確認する。 ・酸素ポンベの元栓を閉めるときは、流量計内の残った酸素を空にする。
外来	坐骨神経ブロック後、下肢にしびれが残る状態で立位となるのを介助。患者が倒れかけ、中足骨剥離骨折した。	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック時の患者の観察、対応について医師と看護師が共同でマニュアル、手順書を作成し遵守する。
外来	生検時、目的部位とは異なる部位から採取。 採取部位はマーキングがされていたが、マーキング部位ではない部分を採取した。	<ul style="list-style-type: none"> ・採取時に、周囲の介助者へ向かい、声だし指差し確認を行い、周囲へも確認を依頼する。 ・初めての処置の場合は、指導医と共に行う。